

つたやしのミニネットコーナー

ミニネット
No.29

子どもを育てる指導の骨格

人間として大切な所作を教え、徹底させる。この「育てる」指導を心がければ学級が荒れることはありません。例えば、最前列の子どもからプリントを後ろに回す「プリント配り」。1年間に何百回と繰り返すこの局面では、次のような順序で指導します。

- ①子どもたちを見取る
まずはプリント配りをやらせてみる。その時に「身体をひねっていない」「声かけがない」など、子どもたちの未熟な点をチェックしておく。
- ②言動を中断する
「やめなさい。もう一度プリントを前に戻しなさい」と指示する。
- ③中断した理由を問う
「なぜやめさせたか、わかりますか?」と発問する。
- ④理想イメージをもたせる
教師の理想イメージが子ども

もから出るか発言をよく聞き、出なければ教師から教える。

- ⑤手本を見せる
数人の子や、ある列にやらせてみる。
- ⑥評価する
良かった点、ダメだった点を教える。必要に応じて再度手本を見せる。
- ⑦全員でやらせる
全員で一斉にやらせる。
- ⑧評価する
先ほどよりどこが良くなったか教える。また、良い動きをした後の感想を出させる。

これ以降、プリント配りの際は指導した通りの言動を徹底させます。子どもたちは1年後、丁寧に素早くプリント配りができるようになります。



イラスト | 吉田朋子